

## 「個別の指導計画」記入例 1

「自分の気持ちや思いを表現することが苦手で、集団への参加が難しい」幼稚園年少児の記入例です。

様式 1 は、幼稚園教育要領に示されている領域について記入しています。

様式 2 は、園の日課の中で主に支援する教職員を記入しています。

様式 3 は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、主に支援する教職員を記入しています。

学年・組	年少・組	園長氏名印	担任氏名印	期間
氏名				平成 年 月～平成 年 月

個別の教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	自分の気持ちや思いを周囲の人に伝えることができる。 集団での遊びや行事に楽しく参加することができる。	個別の教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	自分の気持ちや思いを教員に言葉で表現することができる。  園の行事に見通しをもって参加することができる。
------------------------------	---	------------------------------	--

領域等	幼児児童生徒の様子	年間指導目標
健康 人間 関係 環境 言語 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の着脱には援助を要する。</li> <li>食事にはスプーンを使うが、箸にも興味をもち始めている。</li> <li>教員に告げて、一人でトイレに行くが、トイレの後の手洗いには確認を要する。</li> <li>登園時に周囲のことが気になってしまい、声をかけても片付けに注意を向けることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことができるだけ自分でできる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの場面で、友達に声をかけられるとうれしそうにする様子が見られる。</li> <li>自分から友達を遊びに誘う場面は、まだ見られない。</li> <li>母親や教員など、好きな人に対して思いやりのある行動を見せることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と遊ぶことを楽しむことができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事やいつもと異なる活動に対しては、不安や緊張が強い。</li> <li>教員がクラス全体に話をしている間、静かにしていることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の行事に楽しく参加する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つのことが気になり始めると、「えんえい(先生)」と言って、何かを要求してくる。</li> <li>「ほん、いや」等の二語文も聞かれるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なものの名称を覚える。</li> <li>自分の思いや気持ちを短い言葉で表現することができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな音楽を聴いたり、絵本を読んでもらったりすることを好む。</li> <li>音楽や言葉などに合わせて身体を動かして楽しむことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたこと、考えたことを身振りや表情、言葉など、様々な方法で表現することを楽しむことができる。</li> </ul>
その他		

学年・組		年少・組		氏名							
領域等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ね ら い と 域 内 容 ・ 活 動	<p>安心して登園し、教員に親しみや信頼感をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喜んで登園する。</li> <li>自分のクラスが分かり、担任や友達に親しみをもつ。</li> </ul> <p>生活の流れが分かり園生活に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが安定する場所を見つけ生活する。</li> <li>援助を受けながら、日常生活習慣や片付けなどを少しずつ覚える。</li> </ul>	<p>園での生活の仕方が分かり、身の回りの始末等の生活習慣を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うがい手洗い排泄を自分でしようとする。</li> <li>服の脱ぎ着の仕方が分かり、自分でしようとする。</li> <li>持ち物の始末や身の回りの簡単な始末をする。</li> <li>遊んだ後の片付けの仕方が分かり、自分の出した物は元の場所へ片付ける。</li> </ul>	<p>身の周りの始末を進んでするなどの生活習慣を身に付ける。</p>	<p>基本的な生活習慣が身に付き、自信をもって生活できるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分から進んで片付けや物の始末をする。</li> </ul>							
	<p>好きな場所や遊びを見つけて遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園内のいろいろな場所を知り、安心感をもって過ごす。</li> <li>いろいろな玩具の使い方を知り自分から遊ぼうとする。</li> <li>土や砂、粘土の感触を楽しむ。</li> </ul> <p>教員や友達と歌や遊びを楽しむ。</p>	<p>体を動かして遊ぶ事、やいろいろな遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな遊びに自分からかわり、十分遊ぶ。</li> <li>水、砂、泥などの感触を楽しむ。</li> </ul> <p>遊びや生活の中の必要な言葉が使えるようになる。</p>	<p>友達と一緒に同じ遊びをする楽しさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達やクラスを意識し、遊びの中で少しずつかわりが出てくる。</li> <li>遊びの場や物の取り合いなどのトラブルを経験し、他人とのかかわり方を学ぶ。</li> <li>遊びの中で、「貸して」「入れて」「ありがとう」などの言葉が使えるようになる。</li> </ul> <p>気の合った友達と一緒に同じ遊びやごっこ遊びを楽しむ。</p> <p>経験した事、感じた事、想像した事をその子なりに表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを言葉で伝えようとする。</li> <li>身近な素材を使って好きに作ったり描いたり、それを使って遊んだりする。</li> </ul> <p>季節の自然に触れ、関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な木々や草花の様子に気付き、遊びにそれらを取り入れて遊ぶ。</li> </ul>	<p>友達と一緒に遊んだり、話したりすることを楽しみ、一緒に行動しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年中児や年長児の行動を模倣したり、仲間に入れてもらったりして遊ぶ。</li> <li>寒さに負けず体を十分動かして遊ぶ。</li> </ul> <p>ごっこ遊びやわらべうた遊びを教員や友達と楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的な正月遊びや昔遊びを経験する。</li> </ul> <p>作ったり描いたり、動いたりして、自分なりに表現することを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な話の展開に沿って、おはなし遊びを楽しむ。</li> <li>音楽に合わせてリズム楽器を鳴らし、楽器遊びを楽しむ。</li> </ul> <p>自然のいろいろな現象に実際に触れながら、季節を感じる。</p> <p>年長、年中児にしてもらってうれしかったことを友達にもしてあげる。</p> <p>大きくなったことを喜び、進級に期待をもつ。</p>							
時間	8:30		9:00		9:40	10:20	10:45	11:10		11:40	
活動	登園		運動		製作・環境	片付け	手洗い	好きな活動		降園準備	降園
日課	あいさつ 着替え 持ち物の始末		外国語活動		製作	トイレ	遊び・ゲーム・絵本				
担当者	教員 / 支援員		支援員	担任/支援員	支援員	支援員	担任/教員		支援員	担任/支援員	
活動内容	<p>運動：かけっこ、水泳、マット運動等 製作：工作、絵を描く（色・形・長さ・方向、文字等）</p> <p>環境：自然の中での遊び、飼育栽培等 外国語活動</p> <p>活動内容は固定せず、クラスの状況や園児の様子によって柔軟に実施する。</p>										

ゴシック体は、特に個別的な支援を行う内容・活動を示す。

学年・組		年少・組	氏名		指導記録				
領域等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価		
			目標	内容	方法				
			値						
健康 人間関係 環境 言語 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時に自分の持ち物や衣服を片付けようとするができる。</li> <li>トイレの後に手を洗おうとすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園から片付けまでの流れを教室に掲示する。支援員がついて支援する。</li> <li>トイレが終わったら、「次は何をするの。」と問いかけたり、「これが終わったら、これをしようね。」と指示したりする。支援員がついて支援する。</li> </ul>	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「次はだよ。」「しようね。」と声をかけられて行動できるようになった。</li> <li>自分がしたいことがあるときには、教員からの声かけに応じることが難しかった。</li> <li>友達から声をかけられて、うれしそうに行動することもあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>順序立てて行動することが難しかったり、声かけだけでは注意を向けることが難しかったりするので、絵カード等の活用を検討したい。</li> <li>友達と一緒にトイレに行き、友達が手を洗う姿を見せたり、友達から声かけをするように促したりする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員や友達に誘われて、好きな遊びを楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本児が好きな遊びのときに、教員が他の園児に本児を誘うように促したり、教員が間に入って本児を誘ったりする。主に担任が支援するが、グループでの遊びが始まったら見守るようにする。</li> </ul>	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に誘われて遊ぶ姿も多く見られるようになった。</li> <li>友達からの誘いに対して、「うん」とうなずいてうれしそうにしている姿も見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、友達からの誘いや教員の仲立ちを行いながら、「、する？」など、自分でやってみたい遊びを言葉で伝えるよう促してみる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の遠足や避難訓練に安心して参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に行くことを分かりやすく伝え、見通しをもって参加できるようにする。行事では、園長や主任等も本児を見守り、必要に応じて支援する。</li> </ul>	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>一対一で分かりやすく伝え、必要に応じてそばについて行動することで、遠足の慣れない場所や避難訓練での突然の移動にも不安がることなく、最後まで参加することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員がクラス全体に話している内容を十分に聞くことが難しいことがあるので、最初は支援員がそばにつき、話の内容を確認しながら、徐々に距離をとっていくようにする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員からの問いかけに対して、言葉で答えようとするができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本児の言葉を聞き取ることが難しいときは、「もう一回聞かせて。」と言って、話したいことの意味を汲み取るようにし、本児の話したいという気持ちを尊重する。</li> </ul>	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>二語文が増えた。</li> <li>友達とも言葉でやり取りする場面も見られるようになってきた。</li> <li>教員の誘いや提案に対して「いや。」と答えることも増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二語文に対しては、教員が「が××なんだね。」と表現してみせる。</li> <li>本児が「いや。」と言っても、直ちに受け入れず、次の言葉を待つとともに、必要に応じて我慢することも経験させる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵を描きながら、関連したイメージを動作や言葉で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本児が見せる率直な表現を受け止め、「だね。」と声をかけるなどして、安心感や表現の喜びを感じさせる。主に担任が支援するが、他の教員も適宜声をかける。</li> </ul>	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の遠足の描画では、描いた動物の鳴き声を真似たり、家族や友達を描いたりするときに、教員が言葉で確認すると満足そうな表情をしていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>描いた絵を題材に、楽器で音を出して遊ぶ活動を用意し、表現方法を増やすようにする。</li> </ul>		

<注1> 指導の形態や指導の場所等については、「指導内容・指導方法・手だて等」の欄に必要に応じて記載する。

(例) 「週1時間は通級指導教室を利用する。」 「グループ別の指導を基本とするが、週1時間は個別に指導・支援する」 「登園時の活動や集団での遊びの場面では、補助教員、支援員が個別的な支援を行う。」

<注2> 評価については、指導目標・指導内容・指導方法を必要に応じて1～4で概括し、顕著な部分を「指導の経過と評価」の欄に文章で記述する。

(例) 4段階評価(4:高く評価できる 3:評価できる 2:部分的に見直しが必要 1:全面的な見直しが必要)